

生化学講座

講座・部門紹介

URL <https://www.fmu.ac.jp/home/biochem/index.html>

がんによる死亡原因のほとんどは原発巣から他臓器への転移によるといわれています。がん化した細胞は悪性化することで周囲の組織に浸潤し、リンパ節や遠隔の臓器に転移するようになりますが、それらのプロセスは多様であり、その制御機構もきわめて多岐にわたります。生化学講座では、細胞の接着、極性、移動といった基本的細胞機能の視点からがんの浸潤・転移の分子メカニズムの解明を目指して研究を行っています。その糸口としてWntシグナルやインテグリンシグナルに注目し、分子・細胞・個体レベルでの解析を進めています。

staff スタッフ紹介



主任教授 西田 満

秋田県立横手高等学校卒業
平成 7 年 山形大学理学部卒業
平成12年 北海道大学大学院薬学研究科
博士課程修了
教育専門分野
1) 生化学
研究分野
1) 分子細胞生物学
2) 生化学
趣味：トレッキング、猫鑑賞

研修医、臨床医入学時の研究分野

1. がん細胞の浸潤・転移を制御する細胞内シグナル経路の機能解析
2. がん細胞の挙動を司る細胞間コミュニケーションの解析

講座・部門の主な研究内容

1. がん細胞の浸潤・転移におけるWntシグナルおよびインテグリンシグナルの分子機構解析
2. がん細胞の悪性化プロセスにおけるハイブリットEMTの実態解明

講座・部門からのメッセージ

がんによる死亡の直接的な原因の多くは、他臓器への転移であるといわれており、転移を抑えることができれば、多くのがん患者の命を救うことができます。がん転移を抑える方法を開発するためには、がん細胞の浸潤・転移のメカニズムを理解する必要があります。このような難題に挑戦する情熱のある方の参加を求めていきます。